

こんにちは！3月に入り、私の留学期間も100日を切りました。留学前からたくさん聞いていたけれど、本当にあっという間です。時間の流れが速くて報告書を書くたびにそれを実感します。2月には特に大きな行事はなかったのですが、代わりに学校のテストや課題などで忙しく過ごしました。アメリカの高校では各学期末にあるファイナル以外は、教科ごとにバラバラにテストが行われます。そのためテストが同じ日に重なったりすることは、日本の期末試験などと違ってあまりありません。しかし2月はそれが結構たくさん起こって、1つテストが終わっても次の日にテスト、その次の日にはプロジェクト提出みたいな状態が続きました。自分で計画を立ててやり続けたいといけなかったのが大変でした。

アメリカでは、2月にスーパーボウルというアメリカンフットボールの大きな大会が行われました。フットボールファンの盛り上がりはもちろんのこと、普段はほとんどフットボールを観ない私たちのファミリーも一緒にテレビで観戦しました。私は何回観戦してもフットボールのルールが難しくあまりわからないのですが、試合は最後までドキドキの展開だったし、試合以外の部分であるハーフタイムやスーパーボウルだけの特別なCMもとても盛り上がっていてすごく楽しかったです。

さて突然ですが、皆さんは、「神様」を英語で言って、といわれたらどのように翻訳しますか？多くの人が“god”と訳すのではないのでしょうか。もちろんその訳し方も1つですが、他にも伝え方があります。私は World Culture and Religion という、様々な地域の文化について主に宗教の観点から学ぶことができる授業をとっているのですが、先日日本の文化・歴史と神道について勉強しました。そこで出てきたのは kami = “the spirit” という解釈です。私にとっては「神様=god」という1対1での訳し方が当たり前だったので、この spirit という単語が使われたのは意外でした。しかし考えてみると、確かにキリスト教やイスラム教などの God と比較すると、日本人にとっての神様は少し違うと感ずます。でもそれが spirit かといわれると、英語の感覚不足や神道への理解不足もあるかもしれませんが、なにか違う気がしました。当然のことかもしれませんが、違う文化の中で育った異なる言語では必ずしも一語一訳であてはめられるわけではありません。それをまた実感しました。

日本の文化や宗教観を「異文化」として、外側から見て学ぶことは、とても新鮮で面白いです。自分にとっては普通だったことが、アメリカの生徒にとっては不思議なことだったり未知のものだったりするのがわかります。同じ物事でも異なる視点から見ることで色々な解釈が生まれるということだと思ふし、新たな視点と解釈を得ることができたと感じます。